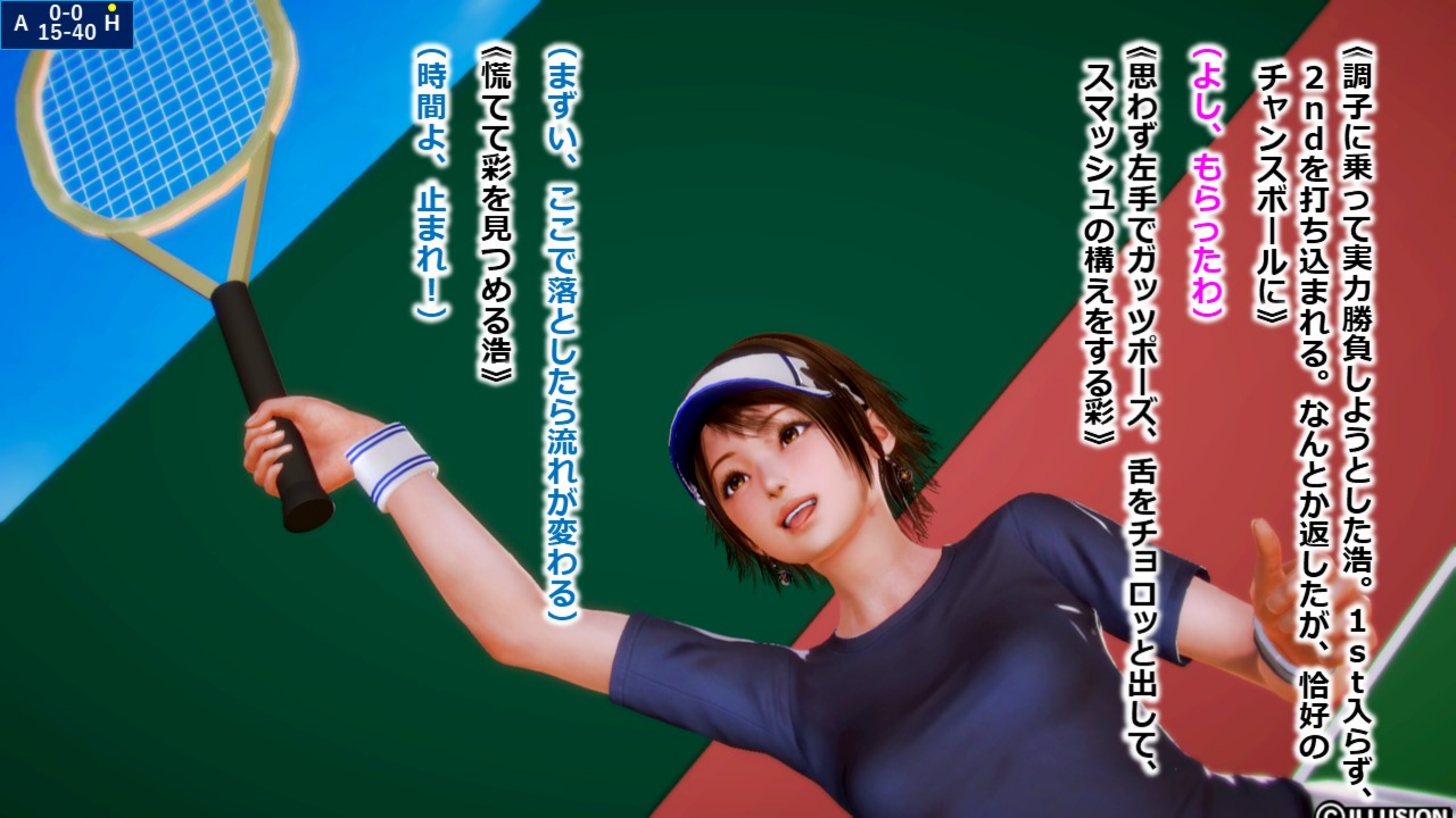
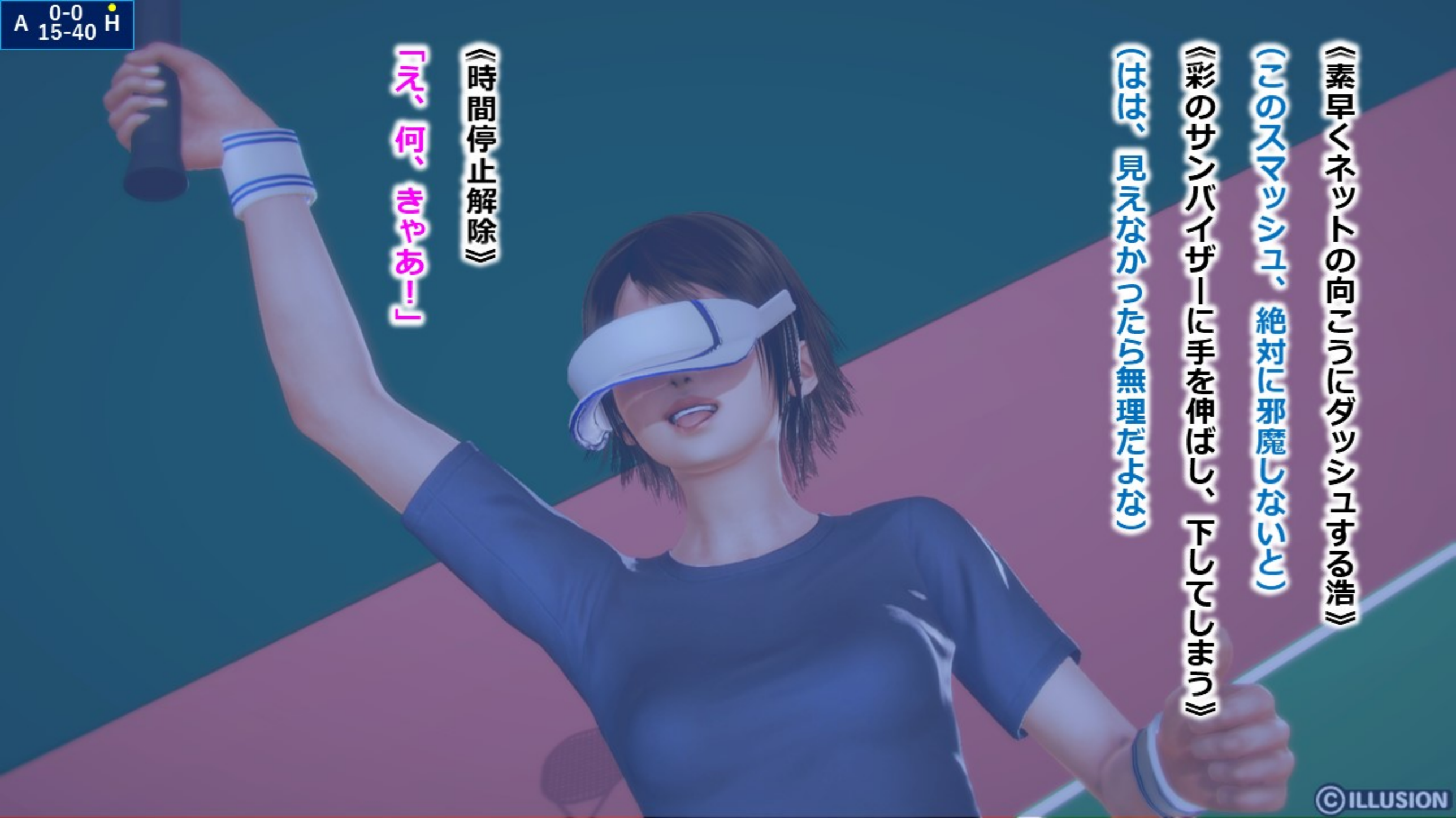
PART 4


A 0-0 15-40 H
《期待し始めた男子の視線を浴びながら、浩は思い切った1stサーブ。彩の真正面に飛び、彩はバランスを崩しながらやっと返す》
「あ……だめ」
《ふらふらと上がったボールを見て、絶望に口を半開きにする彩》
「はい、いただきー」
《あっさりボレーを決める浩》
【武田】「フォーティー、フィフティーン!」
「おお、またまぐれサーブきたーっ」
「エロパワーすごいな、滝沢（笑）」
（こんなの偶然よ、絶対に続かないんだから……）
©ILLUSION


A 0-0 15-40 H
《調子に乗って実力勝負しようとした浩。1st入らず、2ndを打ち込まれる。なんとか返したが、恰好のチャンスボールに》
（よし、もらったわ）
《思わず左手でガッツポーズ、舌をチョロッと出して、スマッシュの構えをする彩》
（まずい、ここで落としたら流れが変わる）
《慌てて彩を見つめる浩》
（時間よ、止まれ！）
©JUMISION


A 0-0 15-40 H
《素早くネットの向こうにダッシュする浩》
（このスマッシュ、絶対に邪魔しないと）
《彩のサンバイザーに手を伸ばし、下してしまう》
（はは、見えなかったら無理だよな）
《時間停止解除》
「え、何、きゃあ！」
©ILLUSION


A 0-1 0-0 H
《サンバイザーに目隠しされ、スマッシュを空振り。ジャンプからの着地も乱れ、膝が崩れて倒れる彩》
「い、痛っ！」
《慌てて両手を後ろにやり、地面につく彩》
「あ、あれ？　いや、こんなの！」
《手と尻が痺れ、しばらく動けない》
「おおっ！」「彩ちゃんおっぴろげ！」「M字開脚！」
「太ももエロい」「アンスコ丸見えー」
「だめ、見ないで！」
「ゲーム、滝沢」
「よっしゃ、一枚脱衣！（笑）」
「う、嘘……そんな……」
©ILLUSION


A 0-1 0-0 H
《数秒間、大股開きポーズを晒した後、あわてて立ち上がり、両手でスコートの前を押さえる彩》
「……あのさ、本当に脱がなきゃダメ？」
《周囲を取り囲むギャラリーからブーイング》
「さっきは偉そうに啖呵切ってたくせに」「アンスコ脱部くらいいいだろ」「太ももは根本まで見られてるんだし（笑）」
「いきなりギブアップかな？」
《一瞬キッとした表情になる彩》
「わ、分かったわよ！」
「さすが先輩」「男子に負けないでください！」
「それじゃあ若杉、時間もないからここで脱いでくれ」
「は、はい……」
©ILLUSION

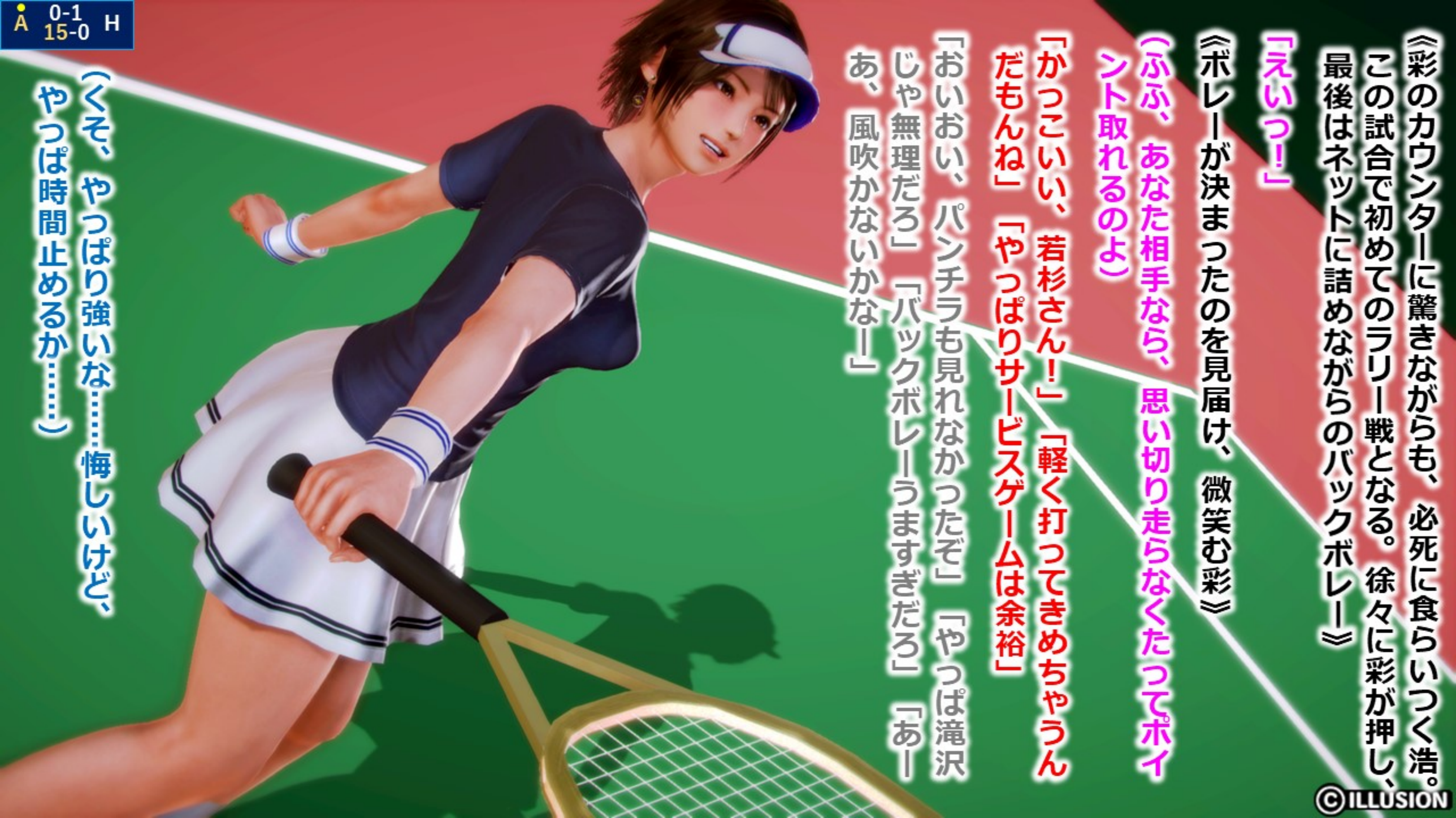

A 0-1 0-0 H
《皆の注目を浴び、スコートの中に手を入れ、アンスコを脱ぎ始める彩》
「いつも凛々しい若杉、恥ずかしそうな顔もいいね」
「こっちにも視線くださーい（笑）」「ストリップかよ（笑）」
《周囲を取り囲むギャラリーが囃し立てる。早く終わらせたいが、スコートが捲れるのが怖くてゆっくり脱ぐしかない彩》
（恥ずかしい……アンスコなしでテニスしなくちゃいけないなんて）
「遅かったな。早く位置についてくれ。ゲーム再開」
©ILLUSION

PART 5

女子達の提案により、ルール一つ追加

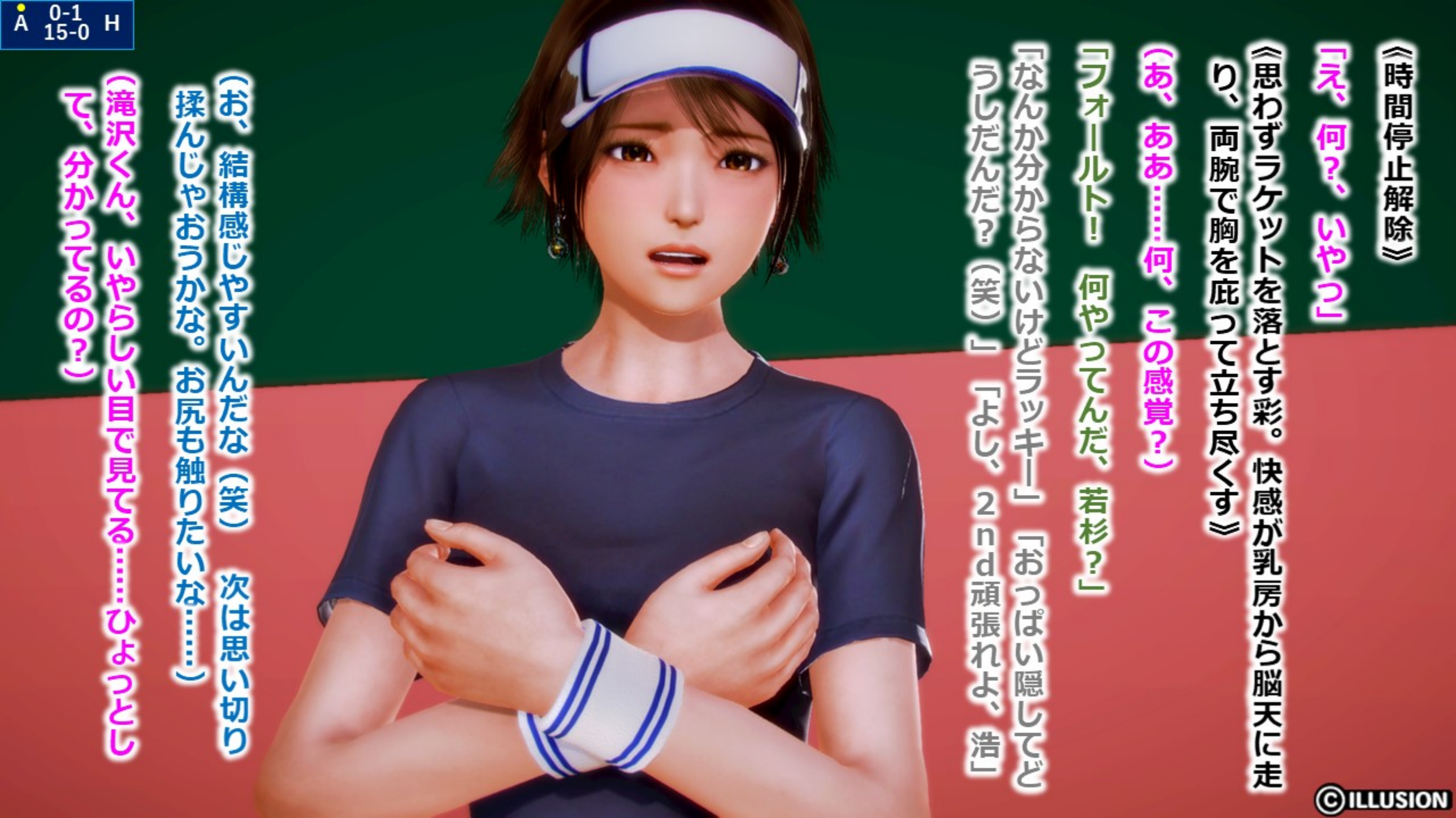
⇒ ゲームを取ったら、一枚服を着ることができる


A 0-1
0-0 H
《アンスコを脱ぎ、スコートの下はパンティだけになったことを気にしながらサーブをする彩》
（足がスースーする……もし捲れたら……）
《とりあえず、1stを入れにいく彩。ボールは浩が構えたところに飛んでいく》
（よし、おあつらえ向きの球！　時間停止はやっぱり必要なかったな）
《得意のフォアハンドで速い球を返す浩》
《思い切り叩いた浩だったが、彩はコースを読み、落下点に向かって走っていた》
（ふふ、あなたが引っぱたくのは想定内よ。カウンターでバックに打ってあげる……）
©ILLUSION

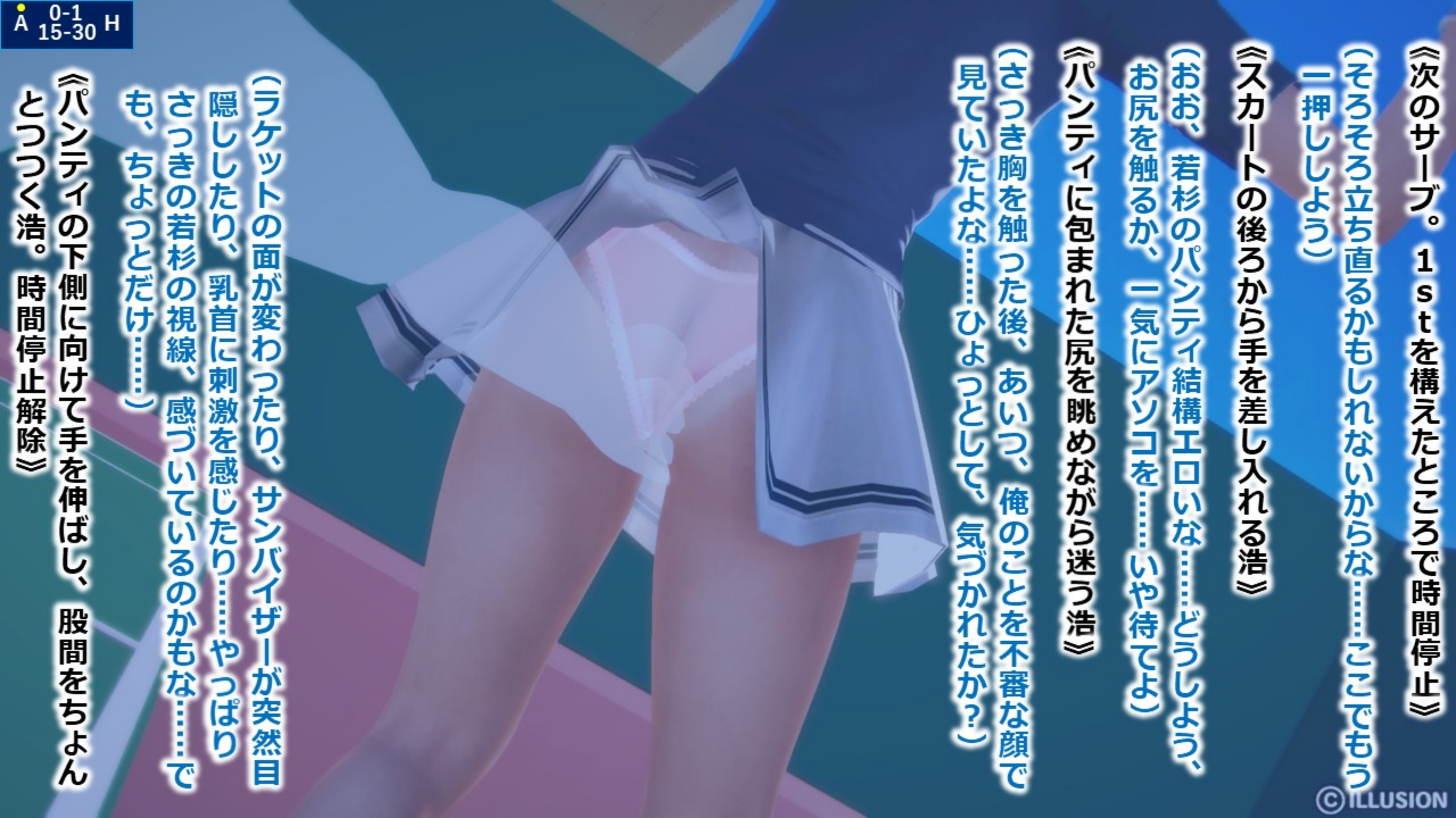

A 0-1 15-0 H
《彩のカウンターに驚きながらも、必死に食らいつく浩。この試合で初めてのラリー戦となる。徐々に彩が押し、最後はネットに詰めながらのバックボレー》
「えいっ！」
《ボレーが決まったのを見届け、微笑む彩》
（ふふ、あなた相手なら、思い切り走らなくたってポイント取れるのよ）
「かっこいい、若杉さん！」「軽く打ってきめちゃうんだもんね」「やっぱりサービスゲームは余裕」
「おいおい、パンチラも見れなかったぞ」「やっぱ滝沢じゃ無理だろ」「バックボレーうますぎだろ」「あーあ、風吹かないかなー」
（くそ、やっぱり強いな……悔しいけど、やっぱ時間止めるか……）
©ILLUSION


A 0-1 15-0 H
《時間が止まった。すっかり慣れた浩は素早く彩に向けてダッシュ》
（どうするかな……サンバイザーはしばらく動かせないし、1stだけミスらせても、2ndは邪魔できないし……）
《10秒ほど考えあぐねる浩。その間も、静止した彩のサーブ姿をいやらしい目で見てしまう》
（やっぱりこの胸、たまんないなー）
©ILLUSION


A 0-1 15-0 H
《胸に目が釘付けになりながら必死に考える浩》
（1stは外れるのに賭けて、2ndで弄るか……
いや、1分間隔いるから、このポイントは無理か。
でも、誰かに見られてたら言い訳できないな）
《我慢できずそっと手を伸ばす浩》
（とりあえず指だけで……おお、彩の乳首柔らかい
……1センチの範囲でくいくいっと）
©ILLUSION


A 0-1 15-0 H
《時間停止解除》
「え、何？、いやっ」
《思わずラケットを落とす彩。快感が乳房から脳天に走り、両腕で胸を庇って立ち尽くす》
（あ、ああ……何、この感覚？）
「フォールト！　何やってんだ、若杉？」
「なんか分からないけどラッキー」「おっぱい隠してどうしだんだ？（笑）」「よし、２ｎｄ頑張れよ、浩」
（お、結構感じやすいんだな（笑）　次は思い切り揉んじゃおうかな。お尻も触りたいな……）
（滝沢くん、いやらしい目で見てる……ひょっとして、分かってるの？）
©ILLUSION


A 0-1
15-30 H
《胸が気になって2ndサーブも力が入らない彩。ダブルフォルトしてしまう》
「フィフティオール！」
「若杉がまさかのダボ！」「調子悪いのかな」「滝沢、一気にゲーム取れよ」
《次のポイントも1stが入らず、2ndで攻め込まれる。スコートが気になり強く打ち込めない彩》
（お、打ちごろの球）「おりゃ！」
「ああ、そんな……」（どうすればいいの？）
「フィフティ・サーティ」
©ILLUSION


A 0-1 15-30 H
《次のサーブ。1stを構えたところで時間停止》
（そろそろ立ち直るかもしれないからな……ここでもう一押ししよう）
《スカートの後ろから手を差し入れる浩》
（おお、若杉のパンティ結構エロいな……どうしよう、お尻を触るか、一気にアソコを……いや待てよ）
《パンティに包まれた尻を眺めながら迷う浩》
（さっき胸を触った後、あいつ、俺のことを不審な顔で見ていたよな……ひょっとして、気づかれたか？）
（ラケットの面が変わったり、サンバイザーが突然目隠ししたり、乳首に刺激を感じたり……やっぱりさっきの若杉の視線、感づいているのかもな……でも、ちょっとだけ……）
《パンティの下側に向けて手を伸ばし、股間をちょんとつつく浩。時間停止解除》
©ILLUSION

A 0-1 15-30 H

《時間停止解除。いきなりの快感に膝がくだけ、内股になってお尻を後ろに突き出すポーズになる彩》

「く、くう……」（え、何、これ！）

《彩の真後ろにいた男子たちは歓声をあげ、可愛い尻を食い入るように見つめる》

「おお、若杉のパンティ見えた！」「今日はピンクか、可愛いな」「ぷりぷりのお尻（笑）」「日焼け後が工口すぎ！（笑）」「ケツの割れ目にパンティ食い込んでる！」

《彩はそのまま一瞬固まり、ボールはそのまま地面に落ちていく。後ろから股間を突かれた感覚に、腰をビクビクッと震わせる》

「ケツ振りサービス！」「若杉のエロテニス最高！」

「どうしたんですか、先輩」「ほんと、今日おかしいですよ」「体調悪いんですか？」

©ILLUSION


A 0-1 15-30 H
《スコートはすぐに戻り、がっかりする男子。彩は腰を屈めて怯えた表情を浮かべる》
「フォルト！　大丈夫か、若杉？」
「ああ、こっちからは見えなかった」「前からも風吹いてくれないかなー」
「ちょっとあんた達、いい加減にしなさいよ」「先輩、体調悪いなら無理しないでください」
《好奇の視線に耐えながら、浩をじっと見る彩》
（まさか、本当に滝沢くんがしてるの？）
「どうしたの、若杉？　おしっこいきたいの？（笑）」
（やばい、疑われてるな……平然としないと）
「は、何言ってるのよ！」
（超能力のはずないわ。絶対に負けないんだから！）
©ILLUSION

PART 6


A 0-1 15-30 H
《次のポイント。スコートが気になる彩は思い切ったサーブが打てず、ストローク戦になった》
（余計なこと考えないで、プレーに集中するのよ）
「若杉、こっちにもパンティ見せてよ」「エッチな日焼け跡、見たいなー（笑）」「滝沢、まぐれでいいからあと2ポイント取れよ！」
《ヤジに集中を削がれ、決めきれない彩》
（あ、まずい！）
《滝沢の得意のフォア側に緩いボールを打ってしまい焦る彩》
（絶対に引っ張ってくる）
《ダッシュするが、それ以上に勢いのあるボールが返ってきた》
（だめ、絶対に取るのよ）
《バランスを崩しながら必死にラケットを伸ばす……》
©ILLUSION


A 0-1 15-40 H
《ダッシュして腰を屈めた結果、スコートの後ろが大きく捲れ、お尻が再び露出》
「おお、若杉のエロケツ！」「こりゃたまらん」「よし、今度は見れた！」「あー、また見えないよ」
《囃し立てる声を聞きながらも必死に手を伸ばす彩。しかしボールはそのラケットの先を掠めて飛んでいく》
（あ、ああ、そんな……）
「よっしゃ、実力勝ち！」
「フィフティ・フォーティ」
©ILLUSION


A 0-1 15-40 H
《ブラ露出まで後がなくなった彩。開き直って思い切りサーブを打つ。浩は時間停止を温存》
（スコートの中、もう見られちゃったんだし、それに、じっくり見られたわけでもないんだから）
《1stサーブが入り、浩は返すのが精いっぱい。ふらふらボールが飛んでいく》
（あー、やっぱりだめか。でも、打ち込まれなければ対応できる……）
©ILLUSION


A 0-1
30-40 H
《素早く移動し、しっかり構えて思い切り振り切る彩》
「えいっ！」
『お、今度は前が見えた！』『リボン付き（笑）』
（気にしないわ……）
「先輩かっこいい！」《女子達から歓声と拍手》
©ILLUSION


A 0-1 30-40 H
《次のポイント。ギャラリーは固唾を呑んで見守る》
（このポイントで絶対決める……だけど、サーブの時にいたずらするのはもうまずいな……胸、アソコ、ラケット、サンバイザーはもういじれないし……）
《必死にサーブを返しながら、浩は考えた》
（そうだ、靴だ……足を上げた瞬間に止めれば……）
《反対サイドに大きくロブを放つ浩。彩が大きなステップで落下点に向かう》
（よし、チャンスボールよ！）
（はい、時間よ止まれ！）
©ILLUSION


A 0-1 30-40 H
《時間停止。浩はダッシュして彩に近寄り、浮いていた右足の靴をかかとから外してしまう》
（よし、頼む。転んでくれ……）
《時間停止解除。右の靴が脱げ、靴下だけで地面を踏む彩。足が滑り、よろけてしまう》
「きゃ、きゃあっ！」
（どうして？　ああ、ボールを返さないと……）
《無理やりボールを打とうとする彩》
《勢いのついた身体は止まらず、右足を滑らせながら回転してしまう。バランスを崩した身体は前に倒れ、彩は慌てて両手を前に伸ばした……》
©ILLUSION


A 0-2 0-0 H
《両手をついて地面に倒れ込む彩。両膝が地面についた衝撃でジーンと痺れる。しばらく動けない》
「痛っ……きゃ、きゃあっ！」
（やだ、スコートが捲れてる！）
「おおおっ！」「これは大サービス（笑）」
「見せてくれるって感じ」「股間エロ過ぎ（笑）」
「四つん這いケツ上げポーズ（笑）」「AVかよ」
「はい、ゲーム終了！」「このままパンティ脱げば？」
「駄目、見ないで！」（恥ずかしすぎる、こんな格好）
©ILLUSION

使用したプログラム・素材等

■本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト ～コンプリートパック～」を使用して作成しています。（http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php）

■また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。
その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。

■本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。
転載・販売等は行わないようお願いします。